



アメリカ留学の際、耐震構造の
ヒントを得たトランク
(早稲田大学蔵)



愛用の計算尺(上)と
メガネ(下)
(早稲田大学蔵)



東京タワー建築時の記録を
残した日記帳(個人蔵)
※展示期間10月30日まで

生誕130年



東京タワーを設計した内藤多仲博士(1886-1970)は、
榊村(南アルプス市)出身の建築構造学者です。耐震
構造を取り入れ、多くの塔を設計したことから、「耐
震構造の父」、「塔博士」とも呼ばれています。本展
では、内藤博士が耐震構造のヒントを得たトランクや、
愛用していた日記帳、計算尺やメガネなど、ゆかりの
品々を紹介しています。南アルプス市から日本を代表
する建築家となった、内藤博士の業績をぜひご覧だ
さい。

*図書館内の「ふるさと室」には、東京タワーに関する資料の
コーナーがあります。また図書館光庭の「未来テラス」には、
東京タワーの1/75の大きさの模型がありますので併せて
ご覧ください。



東京タワー青図(個人蔵)



耐震構造体験コーナー



学生時代のノート

南アルプス市ふるさと人物室



開館時間 平日 午前9時30分から午後7時まで
土・日・祝日 午前9時30分から午後5時まで
休館日 祝日の翌日・月末休館日・年末年始
(図書館の休館日に準ずる)
住 所 山梨県南アルプス市小笠原1060-1
(榊形生涯学習センター内)
問い合わせ 南アルプス市立中央図書館(代表055-280-3300)